

美術博物館



令和6年度は、菱田春草生誕150年の節目にあたり、秋には特別展「創造の道筋—画卷《四季山水》への歩み—」を開催しました。

長野県内で同年度に開催された数多くの展覧会のうち、本展は地域に根ざした意義ある企画内容として、長野県博物館協議会において優秀企画展の1つに選ばれました。

1 沿 革

昭和58年 4 月	「飯田市美術博物館準備事務局」を企画財政部に設置
昭和60年 4 月	飯田市美術博物館準備事務局を企画財政部から教育委員会へ移行
10月	「飯田市美術博物館設立基本構想委員会」発足
昭和61年 3 月	「飯田市美術博物館・日夏記念館基本構想」まとまる
4 月	「飯田市美術博物館展示研究委員会」発足
9 月	飯田市美術博物館建設にともなう飯田城址の発掘調査始まる
9 月	柳田為正・富美子夫妻より「喜談書屋」の寄贈を受ける
昭和62年 6 月	起工式
7 月	美術博物館の付属施設として「柳田國男館基本構想」まとまる
12月	「飯田市美術博物館条例」設置される
昭和63年 4 月	「飯田市美術博物館」として正式に発足する
4 月	井上正館長就任
10月	落成式 一部公開始まる
11月	プラネタリウム投影開始
平成元年10月	8 日 正式開館
10月	常設展示・柳田國男館・日夏耿之介記念館の公開始まる
平成 2 年 1 月	須田剋太氏から同氏の作品寄贈を受ける
10月	飯田ロータリークラブより岩石園が寄贈される
平成 5 年 5 月	電子顕微鏡装置を導入する
7 月	上郷町との合併により、上郷考古博物館を分館とし、秀水美人画美術館を付属施設として包含する
平成 6 年 9 月	井村英治氏より所蔵美術品(井村コレクション)の寄贈を受ける
平成 8 年 3 月	藤本四八氏から同氏の写真作品の寄贈を受ける
平成 9 年 4 月	高田由紀氏より所蔵美術品(岩崎新太郎コレクション)の寄贈を受ける
平成11年 3 月	綿半野原総業株式会社より、綿半野原コレクションの寄贈を受ける
5 月	熊谷みづほ氏より熊谷好博子染色作品の寄贈を受ける
平成14年 9 月	文化庁の認める「公開承認施設」となる(～令和 4 年 9 月まで)
10月	菱田春草の代表作品「菊慈童」を購入する
平成15年 5 月	菱田春草作品「菊慈童」の購入ために「菊慈童の購入を願う市民会議」が前年 9 月から取り組んだ募金活動による、総額51,278,445円の寄附金を受ける
平成16年 3 月	正宗太郎氏から正宗得三郎作品の寄贈を受ける
4 月	追手町小学校化石標本室開設
12月	仲村良一氏から仲村進作品の寄贈を受ける
平成17年 2 月	中 2 階を増設し学習室リニューアルオープン
10月	上村と南信濃村との合併により、上村山村文化資源保存伝習施設と付属施設山村ふるさと保存館ねぎや、および南信濃民芸等関係施設を包含する
平成18年 4 月	井上正館長が退任し、新館長に滝沢具幸が就任
8 月	第 1 回美博まつり開催
平成19年 3 月	空調設備の熱源であるチラーの更新、ポンプや空調機の制御システム省エネ化、照明の省エネ改修および電力管理システムを導入する
4 月	本年度から飯田市藤本四八写真文化賞事業を担当する
平成20年 4 月	上町活性化委員会を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする

6月	開館20周年記念式典、記念講演会開催。あわせて「田中芳男の胸像等制作を願う会」より胸像の寄贈を受けて除幕式を開催する
6月	美術博物館ロゴマーク決定
6～10月	開館20周年記念として記念式典ならびに特別陳列・企画展を開催
7月	びはく年間パスポート会員を募集開始
11月	開館20周年記念第1回びはく学芸祭「伊那谷の自然と文化」開催
平成21年3月	ロビー空間を無料とする
平成22年4月	財団法人飯田市南信濃振興公社を南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）の指定管理者とする
平成23年3月	プラネタリウムリニューアルオープン（記念イベント開催）
平成25年3月	遠山郷土館の大規模展示更新
4月	株式会社上村振興公社を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする
平成27年3月	菱田春草生誕140年展・菱田春草生誕地公園完成
平成28年11月	柳田國男館が国登録有形文化財に登録される
平成29年3月	笹本千草氏から菱田春草未完成作品の寄贈を受ける
4月	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランを策定
9月	菱田春草記念室常設展示を開始
平成30年12月	株式会社大空企画を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする
令和元年7月	自然・文化展示室リニューアルオープン、自然・文化トピック展示がスタートする
令和3年4月	文化財保護活用課が上郷考古博物館内に移転し、上郷考古博物館および付属施設の秀水美人画美術館の運営担当課となる
令和4年4月	条例の改正により飯田市上郷考古博物館の名称を飯田市考古博物館に改める
令和5年10月	ロビーの特定天井の耐震補強工事（～令和6年3月まで）
令和6年4月	滝沢具幸館長が退任し、新館長に蜂谷充志が就任
令和6年7月	笹本千草氏から菱田春草の作品・資料の寄贈を受ける

2 展覧会

昭和63年度	特別陳列「郷土の近代彫刻・工芸」（10月）・企画展「児童生徒期の絵心」（10月）・企画展「写真で見る飯田城から美博まで」（10月）・企画展「雑木林」（11月）
平成元年度	第42回長野県美術展（9月）・開館記念特別展「菱田春草-空間表現の追求-」（10月）・企画展「風越山の自然と文化」（10月）・特別陳列「所蔵品展」（10月）・特別展「サラ・ムーソン」（12月）・企画展「子どもたちの世界」（1月）・企画展「日夏耿之介展-生誕100年特別陳列-」（2月）・第4回中央出品作展（2月）
平成2年度	企画展「知られざる須田剋太の世界」（4月）・二科長野支部展（4月）・特別陳列「デスマスチルス大臼歯発見!」（5月）・特別陳列「信州伊那郡之絵図・伊那郡菌部・本草図彙」（6月）・企画展「伊那谷の昆虫」（7月）・韓国のイメージ日本展・中国のイメージ展（8月）・第43回長野県美術展（9月）・特別展「佐竹蓬平展」（10月）・企画展「紙の文化」（1月）・企画展「日夏耿之介展-その書画と遺愛の品々」（2月）
平成3年度	現代フランス版画展（4月）・企画展「色彩にひそむ生命感 須田剋太の抽象」（5月）・企画展「伊那谷の災害-水と土砂の猛威-」（6月）・特別展「伊那谷の人形芝居」（7月）・長野県工芸展（9月）・特別展 春草没後80周年記念「天心傘下の巨匠たち」（10月）・第44回長野県美術展（11月）・企画展「洋画の百年展」（11月）・第5回中央出品作展（1

- 月）・企画展「日夏耿之介回顧展」（2月）
- 平成4年度 特別展「ほとぼしる生命・画業50年 須田剋太展」（5月）・企画展「氷河期の生き残りーニホンカモシカー」（6月）・特別展「帰国記念展 原田泰治アメリカに行く」（8月）・企画展「柳田國男と信州」（8月）・第45回長野県美術展（8月）・企画展「国際宇宙記念 移動宇宙展」（9月）・信州春陽展（9月）・企画展「バード・イン・アート」（10月）・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅰ-瑠璃寺の秘宝-」（10月）・光風会工芸部長野会展（11月）・企画展「国立民族学博物館所蔵オーストラリアの先住民」（3月）・企画展「笠岡市立竹喬美術館交換展 小野竹喬展」（3月）
- 平成5年度 企画展「宇宙開発展」（5月）・企画展「ベルギー・日本交流版画展」（5月）・企画展「化石が語る富草の海」（7月）・特別展「北斎漫画の世界」（7月）・企画展「日夏耿之介回顧展Ⅳ」（9月）・第46回長野県美術展（10月）・企画展「浜松市美術館所蔵品展」（10月）・第6回中央出品作展（2月）・特別展「白隠」（3月）
- 平成6年度 企画展「生誕120周年記念 菱田春草展-郷土に残された作品を中心に-」（4月）・企画展「伊那谷の身近な生き物たち」（6月）・企画展「おかいこさま」（7月）・特別展「イタリア・謎と神話」（8月）・第47回長野県美術展（9月）・特別展「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」（10月）・第5回光風会工芸部明日へのかたち展長野展（11月）・長野県博物館協議会巡回展「宮坂勝とその周辺」（1月）・特別陳列「江戸期の郷土絵画ー原蓬山を中心に」（3月）
- 平成7年度 特別展「ベン・シャーン」（4月）・企画展「活断層と伊那谷の生い立ち」（7月）・日中友好版画交流展（9月）・第48回長野県美術展（9月）・特別展「飯田商家の風雅 井村コレクションの精粹」（10月）・第7回中央出品作展（2月）・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅱ」（11月）・企画展「豊橋市美術博物館所蔵品展」（3月）
- 平成8年度 第6回南信一水会出品作品展（6月）・企画展「鉱物の世界-中平豊氏コレクションを中心に-」（7月）・寄贈記念展「藤本四八展-日本の美を求めて-」（7月）・第16回長野県工芸展（9月）・第49回長野県美術展（9月）・特別展「原弘」（9月）・特別展「神々の訪れ-天竜川流域の芸能の面-」（11月）・特別陳列「関コレクション-世界の蝶-」（1月）
- 平成9年度 企画展「チェコ・リトアニア・日本の現代版画交流展」（4月）・飯田市制60周年記念特別展「生命史20億年」（7月）・第50回長野県美術展（9月）・特別展「伊那谷の馬 科野の馬」（10月）・特別展「藤本四八展-アトリエの中の画家たち／法隆寺」（11月）・特別展「熊谷守一展」（1月）・第8回中央出品作展（2月）・特別陳列「富岡鉄斎と安藤耕斎」（2月）・特別陳列「飯田城と飯田城主」（3月）
- 平成10年度 開館10周年記念特別展「天心傘下の巨匠たちⅡ」（4月）・同特別展「長谷川コレクション展Ⅰ-ゾウ化石の発掘から復元まで-」（7月）・同特別展「人形の魔術師 川本喜八郎展」（7月）・同特別展「岩崎新太郎コレクション展」（9月）・同特別展「天竜川展」（10月）
- 平成11年度 特別陳列「長谷川コレクション展Ⅱ」（7月）・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら①-伊豆木人形-」（7月）・特別陳列「富本銭と信濃の皇朝十二銭」（8月）・第52回長野県美術展（8月）・特別展「日本博物館の父 田中芳男展」（9月）・特別展「江戸南画の潮流Ⅰ-谷文晁と鈴木芙蓉-」（10月）・企画展「藤本四八展-三熊野」（2月）
- 平成12年度 寄贈記念特別展「綿半野原コレクション展」（4月）・特別展「チョウとガの魅力」（7月）・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら②-桐林人形-」（7月）・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅰ-故郷への憧憬-」（8月）・寄贈記念展「熊谷好博子」（10月）・特別陳列「長谷川コレクションⅢ-動物の骨・現生の動物の頭骨や骨格標本-」（10月）・第1回現代の創造展（1月）・企画展「藤本四八-装飾古墳・鎌倉むさしの仏たち」（2月）

- 平成13年度 特別展「子供と楽しむ動物画展」(5月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら③-黒田人形-」(7月)・第54回長野県美術展(9月)・特別展「聖徳太子絵伝が語るもの」(10月)・特別展「南アルプス-形と成り立ち-」(10月)・特別陳列「長谷川コレクション展Ⅳ-日本最古のオオカミ類の化石-」(12月)・第2回現代の創造展(3月)
- 平成14年度 特別展「化石芸術」(7月)・特別展「須山計一」(9月)・特別展「伊那谷の文化財-飯田下伊那の特質を語る-」(10月)・特別陳列「城田孝一郎-寄託作品より-」(11月)・第3回現代の創造展(3月)
- 平成15年度 新収蔵記念 菱田春草展「菊慈童・自然と人間のフュージョン」(4月)・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とスロヴァキア絵本芸術の巨匠たち」(7月)・特別陳列「自然の不思議-色から探る鉱物の世界-」(7月)・特別展「平山郁夫コレクション-ブツダの生涯とガンダーラをめぐる人びと-」(8月)・第56回長野県美術展(9月)・第4回現代の創造展(2月)・特別陳列「飯田のお練り祭り-よみがえる豪華絢爛な祭礼絵巻-」(2月)
- 平成16年度 企画展「ひと・むし・たんぼ」(7月)・企画展「平和の使者『長野絹子と青い目の人形』展」(7月)・寄贈記念特別陳列「正宗得三郎」(8月)・企画展「江戸時代の好奇心-飯田・市岡家の本草学と多彩な教養-」(10月)・特別展「京都の日本画」(11月)・第5回現代の創造展(3月)
- 平成17年度 寄贈記念特別陳列「飯田つむぎのころ-広瀬忠一の織物-」(6月)・特別陳列「原人がいた頃のシカ」(6月)・白山社奥社修理記念特別陳列「風越山とその信仰」(6月)・特別陳列「絵図でみる飯田城」(7月)・第58回長野県美術展(8月)・特別陳列「市岡家と万博の父田中芳男」(9月)・白山社奥社修理記念特別陳列「白山社奥社の扉絵」(9月)・特別展「中世信濃の名僧-知られざる禅僧たちの営みと造形-」(10月)・特別展「仲村進展」(11月)・第6回現代の創造展(2月)
- 平成18年度 特別陳列「日夏耿之介の眼-會津八一との出会い-没後20年」(4月)・特別展「富岡鉄斎展」(7月)・新飯田市誕生記念企画展「遠山大地変と埋没林」(7月)・同特別展「遠山霜月祭の世界」(10月)・特別陳列「集める楽しみ、調べる魅力-美博の自然コレクション展-」(11月)・第7回現代の創造展(2月)
- 平成19年度 特別陳列「桜-爛漫と愛惜の花-」(4月)・特別陳列「飯田大火60年-まちを変えた大災害をふりかえる-」(4月)・特別陳列「城田孝一郎の木彫」(6月)・飯田市制施行70周年記念特別展「水谷章人写真展」(7月)・企画展「中央アルプスを歩く」(7月)・第60回記念長野県美術展(10月)・飯田市制施行70周年記念特別展「絵画のなかの物語-菱田春草『玉昭君』と日本美術院の歴史画-」(10月)・特別陳列「飯田町に書画あり-井村萬之助と岩崎新太郎」(11月)・特別陳列「骨は語る」(11月)・特別陳列「広瀬忠一の染めと織物」(11月)・第8回現代の創造展(2月)・特別展「藤本四八-美を追いかけた写真家の生涯-」(3月)・特別陳列「花を愛でる-うめ・もも・さくら-」(3月)
- 平成20年度 第6回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・開館20周年記念特別陳列「新指定文化財・新館蔵品展」(6月)・同特別陳列「田中芳男館蔵品展」(6月)・同企画展「ハナノキ湿地の自然史-赤き楓のかなでる交響楽-」(7月)・同企画展「信州喫茶事始-お茶をめぐる文化誌-」(7月)・同特別陳列「伊那谷の仏教絵画-聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めて-」(9月)・同特別展「江戸南面の潮流Ⅱ 文晁・華山の感覚」(10月)・第9回現代の創造展(2月)・特別陳列「桜-春の歳時記-」(3月)
- 平成21年度 特別展「版画に見る印象派-陽の当たる午後、天使の指がそっと-」(4月)・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅲ-谷中安規の版画世界-」(6月)・企画展「こんなの見つけた! ぼくのわたしの里山コレクション」(7月)・長野県在住日展日本画家飯田展(7月)・特別陳

- 列「天龍峽-神仙境と文雅の歩み-」（8月）・第62回長野県美術展（10月）・特別陳列「化石は語る-生物の進化と古環境-」（10月）・第10回現代の創造展（2月）・特別展「信州飯田領主堀侯-日本を動かした郷土の外様大名-」（3月）
- 平成22年度 第7回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「伊那谷の蝶蛾誌-井原道夫コレクション-」（7月）・特別展「ミュージアム・サミット美の競演-三遠南信交流展-」（9月）・特別展「獅子舞-ユーラシアから伊那谷へ-」（10月）・第11回現代の創造展（2月）・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」（3月）
- 平成23年度 特別陳列「三六災害50年-伊那谷を襲った大水害をふり返る-」（6月）・企画展「小惑星が衝突した御池山クレーター」（6月）・三遠南信文化交流展「黄金の世紀-きらめく古墳文化-」（7月）・特別陳列「菱田春草-新飯田市文化財指定作品特別公開-」（8月）・菱田春草没後百年記念特別展「春草晩年の追求-日本美術院と装飾美-」（9月）・瑠璃寺開基900年記念特別陳列「瑠璃寺と天台の秘宝」（10月）・第12回現代の創造展（2月）・特別陳列「桜-印籠と謡本、飯田の古桜」（3月）
- 平成24年度 特別陳列「飯田山本 竹佐中原遺跡の旧石器」（4月）・寄贈記念特別展「滝沢具幸-地のうた-」（4月）・第8回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・特別展「大恐竜展-謎の巨大恐竜スピノサウルス-」（6月）・柳田國男没後50年記念企画展「民俗の宝庫〈三遠南信〉の発見と発信-柳田國男・折口信夫ら先学による調査研究のあゆみ-」（9月）・企画展「洋画家・正宗得三郎-疎開の地・伊那谷へのまなざし-」（11月）・企画展「長野二紀展-新たな価値あるフォルムをめざして-」（11月）・企画展「伊那谷のやきもの-飯田市一帯の窯跡とその製品-」（12月）・第13回現代の創造展（2月）・特別陳列「愛宕稲荷神社の三十六歌仙絵馬と飯田の文化」（3月）
- 平成25年度 寄贈記念企画展「なんでもかんでもカタツムリ！-飯島國昭コレクション-」（6月）・特別陳列「遠山森林鉄道」（6月）・特別陳列「りんご並木50年」（7月）・第65回長野県美術展（9月）・特別展「伊那谷の日本画-春草没後の求道者たち-」（10月）・特別展「カミとホトケの交渉史-廃仏毀釈の爪跡-」（11月）・特別展「お金の博物誌-富本銭から六文銭まで-」（11月）・第14回現代の創造展（2月）・企画展「3.11東日本大震災3周年 地震と地盤災害」（3月）・第1回小中学校郡展等優秀作品展（3月）
- 平成26年度 特別陳列「飯田上飯田の文化財-丘の上の魅力再発見-」（4月）・第9回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「古代の生きもの大集合」（7月）・企画展「南信州の煙火-火の芸術に魅せられた男たち-」（7月）・特別企画「親子で楽しむ菱田春草」（7月）・国史跡指定記念企画展「伊那郡衙-恒川官衙遺跡-」（10月）・第2回小中学校郡展等優秀作品展（2月）・第15回現代の創造展（2月）・菱田春草生誕140年菱田春草生誕地公園完成記念特別展「創造の源泉-菱田春草のスケッチ」（3月）
- 平成27年度 企画展「生きものの小べや」（7月）・特別展「信州の祈りと美-善光寺から白隠、春草まで」（10月）・企画展「飯田下伊那考古学最前線-調査・研究速報-」（10月）・特別陳列「かるたで遊ぶお正月」（12月）・第3回小中学校郡展等優秀作品展（1月）・第16回現代の創造展（2月）・特別陳列「飯田城とお練り祭り」（3月）
- 平成28年度 第10回藤本四八写真文化賞受賞作品展（5月）・企画展「飯田市藤本四八写真文化賞の20年」（5月）・企画展「高山のダイナミズム」（7月）・特別陳列「没後200年 鈴木芙蓉のいま」（8月）・寄贈記念特別陳列「城田孝一郎の木彫」（10月）・田中芳男没後100年記念特別展「日本の近代化に挑んだ人びと-田中芳男と南信州の偉人たち-」（10月）・特別陳列「代田孝一郎の木彫」（10月）・第4回小中学校郡展等優秀作品展（1月）・第17回現代の創造展（2月）・特別展「創画会70周年記念展」（3月）平成29年度 国史跡指定記念企画展「飯田古墳群-いいだは古墳の博物館-」（7月）・企画展「世

- 界最南端のライチョウがすむ南アルプス」(7月)・特別陳列「没後210年 佐竹蓬平のいま-深まりゆく画境-」(10月)・第18回現代の創造展(2月)
- 平成30年度 特別陳列世界人形劇フェスティバル記念「伊那谷の人形芝居と大森運夫」(7月)・特別陳列「没後140年 原蓬山-伊那谷の漂泊画人-」(8月)・特別陳列「開山1300年記念 風越山-白山信仰の聖地-」(9月)・第19回現代の創造展(11月)
- 平成31年・令和元年度 文化トピック展示「飯田城と城下町」(7月)・自然トピック展示「南アルプスと中央アルプスの高山植物」(7月)・特別陳列「60年前の記憶 遙かなる遠山郷-塚原琢哉写真と民俗-」(9月)・巡回展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」(10月)・文化トピック展示「光明寺の文化財」(10月)・第20回記念現代の創造展(11月)・自然トピック展示「石ころから探る長野県の大い」(12月)・文化トピック展示「秋葉街道」(2月)
- 令和2年度 文化トピック展示「日夏耿之介と三島由紀夫、岸田國士」(5月)・特別陳列「生誕130年 日夏耿之介とともにめぐる飯田の町」(6月)・自然トピック展示「南アルプス石灰岩地の希少植物」(6月)・特別展「長野県信濃美術館交流名品展-東洋と西洋のうるわしき出会い-」(7月)・文化トピック展示「『国学』って何?」(8月)・企画展「竜丘児童自由画100周年展-自由の丘の熱き記憶-」(10月)・第21回現代の創造展(11月)・文化トピック展示「鍋の考古学-昔の人はどのようにコメを食べていたんだろう?」(11月)・自然トピック展示「飯田下伊那の鉱山と鉱石」(12月)・文化トピック展示「満洲は豊かだったか-入門・下伊那の満洲移民-」(3月)
- 令和3年度 自然・文化トピック展示「三六災害から60年」(6月)・特別陳列「東山道と伊那谷の古代仏教文化」(7月)・没後110年特別展「菱田春草 故郷にっとう珠玉の名画」(10月)・文化トピック展示「伊那谷の富士信仰-不二道信者松下千代と仲間たち-」(10月)・自然トピック展示「生き物を未来に伝える-美博の標本づくり-」(10月)・第22回現代の創造展(11月)・文化トピック展示「飯田下伊那における疫病」(12月)・自然トピック展示「春を彩るスマレ」(2月)・文化トピック展示「元善光寺のご開帳」(3月)
- 令和4年度 自然トピック展示「夏だ!虫だ!クワガタだ!」(6月)・文化トピック展示「飯田城から追手町小学校へ」(6月)・特別陳列「南アルプスジオパーク ジオサイトを巡る」(7月)・文化トピック展示「飯田町の学問と文化」(9月)・特別展「城下町飯田と飯田藩」(9月)・自然トピック展示「トンネルの中から地中をのぞく」(9月)・「第23回 現代の創造展」(11月)・文化トピック展示「伊那谷を襲った近世の2つの地震-遠山地震・安政東海地震-」(12月)・自然トピック展示「南アルプスのアンモナイト化石」(1月)・文化トピック展示「りんご並木と田中芳男-『りんごの町飯田』誕生-」(3月)・特別展「美術と風土-アーティストが触れた伊那谷展」(3月)
- 遠山郷土館トピック展示「国学ってなに」(4月)・「満洲は豊かだったか」(7月)・「児童自由画展」(10月)・「春を彩るスマレ」(1月)
- 令和5年度 文化トピック展示「南信州の風流踊」(6月)・自然トピック展示「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」(6月)・特別陳列「驚異の部屋 -長谷川善和コレクション-」(7月)・文化トピック展示「『飯田歌舞伎座』-明治飯田を彩った芝居と相撲の殿堂-」(8月)・第75回長野県美術展(10月)・自然トピック展示「南アルプスの高山蛾調査最前線!」(3月)・「複製画で見る春草の名画」(3月)・「江戸の中の飯田藩」(3月)・遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」・トピック展示「トンネルの中から地中を覗く」(4月)・「『遠山奇談』入門」(7月)・「飯田町の学問と文化」(10月)・「飯田下伊那を襲った2つの地震」(1月)

令和6年度 文化トピック展示「旧小笠原書院築400周年 伊豆木小笠原家と旧小笠原書院」(6月)・特別陳列「飯田と富岡鉄斎」(7月)・自然トピック展示「そして化石は『標本』になるー近藤恭一がみつけた富草の海ー」(8月)・特別陳列「太田用成生誕180年記念『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学」(8月)・文化トピック展示「菱田家の人びと」(9月)・菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋ー画卷《四季山水》への歩みー」(10月)・第24回現代の創造展(11月)・「複製画で春草の名画を見よう」(12月)・文化トピック展示「生誕150年 仏師井出嘉汕の眼と技」(12月)・自然トピック展示「ギフチョウと伊那谷の春のチョウ」(2月)・文化トピック展示「新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男関係資料」(3月)遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」・「遠山谷の盆踊り」(8月)・「飯田下伊那における疫病」(11月)

3 施設の概要

(1) 美術博物館

ア 場 所	飯田市追手町2丁目655番地7
イ 敷地面積	14,346.16㎡
ウ 構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階
エ 建築面積	3,813.21㎡ (延床面積4,938.16㎡)
オ 総 工 費	2,400,000千円
カ テ ー マ	基本テーマ「伊那谷の自然と文化」 美術：自然と人間のフュージョン（融合） 博物：きびしく豊かな自然とその中に生きる人間
キ 施設の内容	
◎利用者空間	常設展示室（自然・文化）、企画展示室（A・B）、美術展示室（菱田春草記念室）、プラネタリウム、市民ギャラリー、講堂、科学工作室、学習室、喫茶室
◎管理者空間	会議室、館長室、学芸員室、事務集中管理室、機械室 ほか
◎学芸員空間	収蔵庫A・B・C、標本作成室、資料処理室、荷解室、石工室、燻蒸室、外来研究員室
ク 付属施設	日夏耿之介記念館 木造平屋造 62.94㎡ 柳田國男館 木造2階建 245.40㎡

(2) 上村山村文化資源保存伝習施設（通称 まつり伝承館天伯）（平成17年10月包含）

ア 場 所	飯田市上村753番地
イ 敷地面積	368.13㎡
ウ 構 造	木造（一部鉄骨）2階建
エ 建築面積	463.32㎡ (延べ485.19㎡)
オ 総 工 費	110,931千円
カ 運営テーマ	上村の歴史・民俗・自然の姿と霜月祭を紹介し、その伝統を保存伝承する
キ 施設の内容	
◎利用者空間	展示室、伝習室
◎管理者空間	会議室、事務室、倉庫ほか
ク 付属施設	山村ふるさと保存館ねぎや 木造2階建 311.00㎡

(3) 南信濃民芸等関係施設（通称 遠山郷土館）（平成17年10月包含）

ア 場 所	飯田市南信濃和田1192番地
イ 敷地面積	2179.98㎡
ウ 構 造	鉄筋2階建（一部3階建）
エ 建築面積	574.67㎡ (延べ735.05㎡)
オ 総 工 費	156,521千円
カ 運営テーマ	南信濃の歴史・民俗・自然の姿と霜月祭を紹介し、その伝統を保存伝承する
キ 施設の内容	
◎利用者空間	展示室、伝習室、体験室、休憩室兼資材室
◎管理者空間	管理室、倉庫ほか

4 運営方針

(1) 開館時の基本方針

- ① 100年後のあるべき姿を見つめながら、ハイレベルの施設づくりをめざします。
- ② 自然、人文（考古含む）、美術の3部門の特性を活かし、「伊那谷の自然と文化」への、それぞれの深い掘り下げと総合館としての横のつながりをめざします。
- ③ 「伊那谷の自然と文化」に関する研究条件を整備し、活発な学芸活動をめざします。
外部の専門家との連携を深め、多くの学識の提供を受けるとともに、市民のみなさまとの共同研究も行い、年報、研究紀要、伊那谷自然史論集やびはく学芸祭などで発表します。
- ④ 教育普及活動に重点をおき、学芸職員のほか、外部の専門家を招聘し、学術的に高度の内容を維持しつつ、一般に理解し易い講座を行います。
- ⑤ 所蔵者との信頼関係を深め、寄贈、寄託等を通して展示品の増加、充実に努めます。
- ⑥ 購入については、特に春草作品を優先し、緊急を要する大作については特別に対処できるよう対策を講じます。
- ⑦ 展示は、「常設展示（室）の内容の充実」、「特別展、企画展の計画的開催」、「良質な美術展覧会等の誘致開催」を目標として行っていきます。

(2) 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン

美術博物館が、リニア時代において、博物館としての使命を果たしていくためには、市民のまちづくりや多様化する学びの欲求に応えていくことが必要です。そこで、当館の今後のあり方や事業活動における基本的な方向を示すビジョンと、それを達成するための取組を示す基本プランを策定しました。期間は平成29年度（2017）から令和10年度（2028）までの12年間とし、4年ごとに見直ししながら本計画に基づいた事業活動に取り組んでいます。

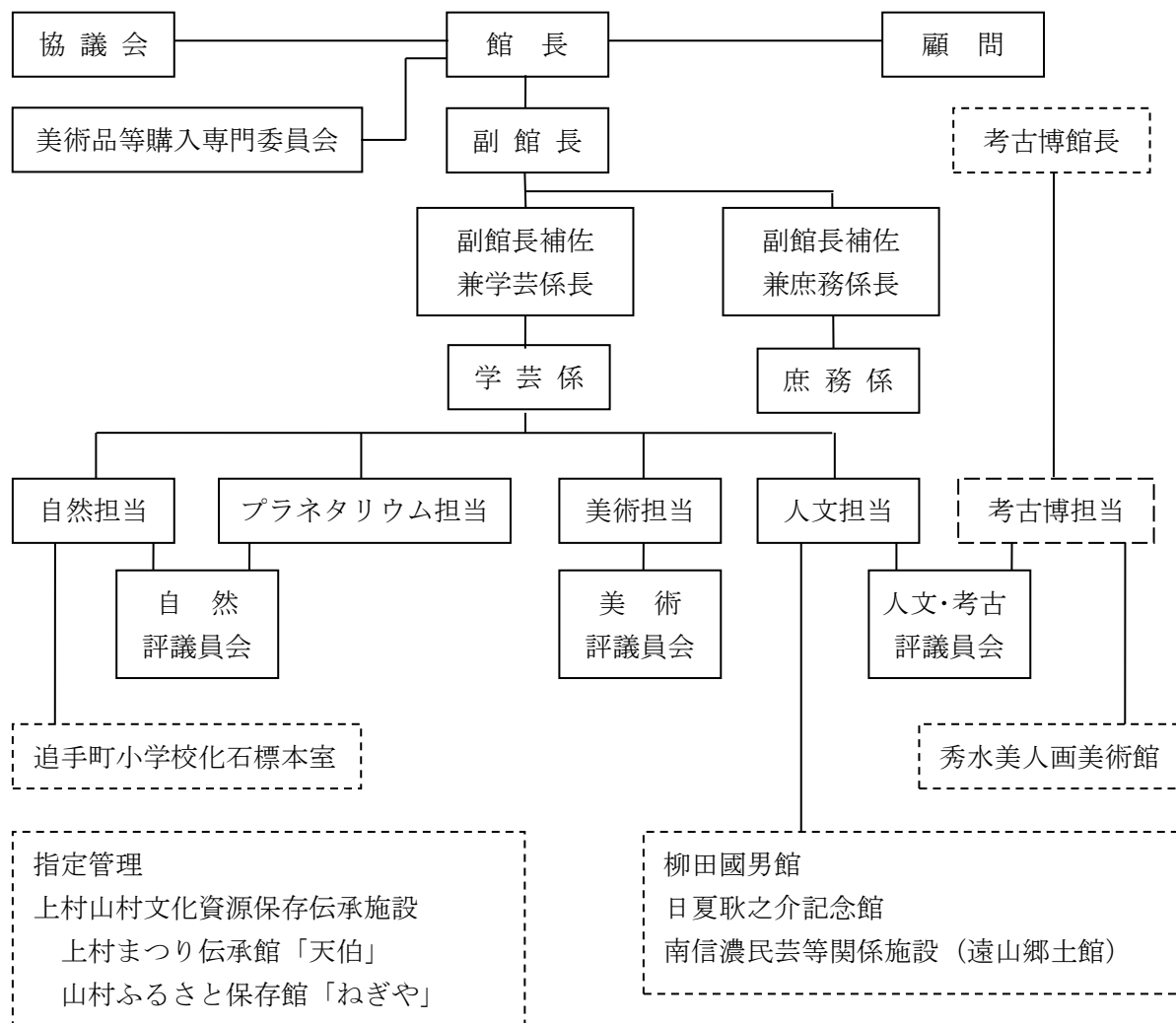
〈めざす姿〉

リニアがもたらす大交流時代に「飯田の価値と魅力」を発信し学びあい未来をひらくミュージアム

〈3つの重点目標〉

- 「伊那谷の自然と文化」の総合的なガイダンス機能を高め、飯田の魅力を広く紹介します。
- 「地域振興の知の拠点」の一翼を担うべく、「交易と交流」を視点に「飯田の価値と魅力」を探ります。
- 多様な学びに学術的に応え、文化の創造と地育力の向上に寄与します。

5 運営組織（令和6年度）



6 入館者数

(1) 入館者数（令和6年度）

（単位；人）

区 分	美 術 博 物 館									
	展 覧 会					プラネタリウム				
	個人	団体	減額	免除	計	個人	団体	減額	免除	計
一 般	9,165	1,951	1,543	1,636	14,295	3,530	328	321	619	4,798
高校生				246	246	66	24	2	6	98
小中学生				3,504	3,504	2,648	235	13	1,665	4,561
小 計	9,165	1,951	1,543	5,386	18,045	6,244	587	336	2,290	9,457
無 料	11,104				11,104	459				459
計	20,269	1,951	1,543	5,386	29,149	6,703	587	336	2,290	9,916

(2) 入館者状況

（単位；人）

区 分	美 術 博 物 館		
	展 覧 会	プラネタリウム	計
令和2年度	22,863	4,812	27,675
令和3年度	32,106	4,684	36,790
令和4年度	31,237	6,040	37,277
令和5年度	23,130	7,808	30,938
令和6年度	29,149	9,916	39,065

(3) 上村、南信濃関連施設入館者数 (令和6年度) (単位: 人)

区 分	上村まつり伝承館天伯					遠山郷土館				
	個人	団体	減額	免除	計	個人	団体	減額	免除	計
一 般	155	97		174	426	636	62	6	20	724
小中学生	1				1				34	34
無 料	343				343	908				908
計	499	97		174	770	1,544	62	6	54	1,666

(4) 上村、南信濃関連施設入館者状況 (単位: 人)

	上村まつり伝承館天伯	遠山郷土館
令和2年度	607	1,199
令和3年度	249	1,974
令和4年度	596	2,069
令和5年度	395	1,041
令和6年度	770	906

(5) 付属施設等入館状況 (単位: 人・回)

区 分	柳田國男館	日夏耿之介 記念館	追手町小学校 化石標本室	市民ギャラリー	
				展示回数	入場者数
令和2年度	1,442	602	367	16	6,631
令和3年度	1,657	630	597	16	5,966
令和4年度	2,435	874	268	29	9,603
令和5年度	1,817	752	124	23	8,570
令和6年度	2,792	1,102	419	32	15,019

7 教育普及活動 (令和6年度)

(1) 館主催の講演会・講座・解説会・ワークショップ等

区 分	美 術	人 文	自 然	全体	計
回 数(回)	50	55	93	2	200
出席者(人)	1,063	1,014	1,926	555	4,558

(2) 地域・団体等への招聘・参加の教育普及活動

区 分	美 術	人 文	自 然	計
回 数(回)	65	47	72	175
出席者(人)	1,471	897	2,396	4,764

8 刊行物一覧 (新刊)

書籍名	発行所	刊行年	仕様	部数	頒価
研究紀要 第35号(美術・人文)	美術博物館刊	2025年	A4判 モノクロ 86頁	450部	1,050円
菱田春草カレンダー (2025年)	美術博物館刊	2024年	A3判変形 カラー	1,000部	1,000円
飯田市美術博物館 年報第34号	美術博物館刊	2025年	A4判 モノクロ 96頁	350部	配布のみ
伊那谷自然史論集vol.26	美術博物館刊	2025年	A4判 モノクロ 61頁	340部	950円
『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学	美術博物館刊	2024年	A4判 カラー 8頁	1,000部	配布のみ
創造の道筋ー画卷《四季山水》への歩みー	美術博物館刊	2024年	A4変形判カラー80頁	1,000部	1,800円

9 令和6年度 事業報告

(1) 展示事業

〈美術〉

1) 企画展 美術博物館館長退館記念「滝沢具幸展」

R6. 3. 30～5. 26 2, 686人 (令和6年度2, 500人)

平成18年より18年間お勤めいただいた滝沢具幸館長の退任に際し、これを記念した企画展として実施した。本館が所蔵する全ての滝沢作品を陳列し、新寄贈となった屏風《地のものたち》も披露した。

2) 菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋―画卷《四季山水》への歩み―」

R6. 10. 5～11. 4 3, 161人

菱田春草の生誕150年を記念した特別展。春草の模写・写生・下絵・未完成作品等をもとに作品の制作の背景を紹介し、画卷《四季山水》の小下絵・大下絵・完成作を陳列して春草の制作過程を具体的に紹介した。

3) 特別陳列「飯田と富岡鉄斎」

R6. 7. 20～8. 18 2, 506人

富岡鉄斎没後100年にあたり、本館の所蔵品を中心に、富岡鉄斎と飯田に関連する作品・資料を展示した。あわせて富岡鉄斎研究をおこなった正宗得三郎の模写作品も展示した。

4) 第24回 現代の創造展―南信州のアートを共に創る―

R6. 11. 17～12. 8 3, 130人

飯田下伊那ゆかりの作家たちによる展覧会。日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書・コンテンポラリーの7分野。実行委員会が作家を推薦して作品を依頼する展覧会。会期中には作家によるギャラリートークと中高生による一日学芸員を実施。

5) 菱田春草記念室常設展示

令和6年度の菱田春草常設展示は6本を実施した。なお、令和6年度中に開催した特別展「創造の道筋」において模写・写生・下絵・未完成作品をまとめて紹介するため、菱田春草常設展示ではこれらを陳列せず、作品のほか書簡資料などを中心とした構成で実施した。

①第46期「《春秋》―花鳥画の彩り―」 R6. 4. 27～5. 26 1, 555人

②第47期「《牧童》―水墨画の潤い―」 R6. 6. 8～7. 15 1, 562人

③第48期「《菊慈童》―遙かなる山水―」 R6. 7. 20～8. 18 2, 506人

④第49期「《鎌倉時代闘牛の図》―古典へのまなざし―」 R6. 8. 24～9. 23 1, 974人

⑤第50期「《帰樵》―山水画の粧い―」 R6. 11. 9～12. 8 3, 217人

⑥第51期「《霊昭女》―人物画の風格―」 R7. 3. 15～4. 13 1, 937人 (令和6年度1, 284人)

6) 「複製画で見る春草の名画」

R6. 3. 9～R6. 4. 21 2, 125人 (令和6年度829人)

複製画を陳列して春草の名品を紹介した。また令和6年3月9日から31日までの期間に設定した「ウキウキ春のジュニア月間」に併せて小中学生を無料とし、ジュニア向け鑑賞ガイドも作成して配布した。

7) 「複製画で春草の名画を見よう」

R6. 12. 21～R7. 3. 2 1, 763人

《落葉》《黒き猫》などの複製画を通じて春草の代表作のみどころを紹介する展示。また、松尾小学校、松川北小学校、緑ヶ丘中学校で実施した鑑賞授業の様子も紹介した。

8) コレクション展示

令和6年度のコレクション展示は5本を実施した。館蔵品の公開を目的とする展覧会で、藤本四八作品・仲村進作品・須田剋太作品・工芸品・洋画作品を紹介した。

- ①「藤本四八の写真人生」R6. 6. 8～7. 15 1, 562人
- ②「須田剋太 抽象画のみどころ」R6. 6. 8～7. 15 1, 562人
- ③「仲村進 屏風を描く」R6. 7. 20～9. 23 4, 551人
- ④「館蔵品で見る工芸のいろいろ」R7. 3. 15～5. 18 3, 469人（令和6年度2, 816人）
- ⑤「横井弘三・須山計一・正宗得三郎 それぞれの洋画」R7. 3. 15～5. 18 3, 469人（令和6年度2, 816人）

9) 子ども美術学校・中学生造形教室作品展

R7. 2. 7～2. 23 590人

子ども美術学校と中学生造形教室で製作した作品を披露する展覧会。小学生は6種366点、中学生は4種38点の作品を展示した。

〈人 文〉

特別陳列「太田用成生誕180年 『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学」

R6. 8. 24～9. 23 1, 974人

飯田出身の医師太田用成の生誕180年を記念して開催。太田用成の経歴について東海国立大学機構大学文書資料室の柴田邵平資料などを利用して紹介するとともに、用成が明治初期に医学概説書『七科約説』を出版した背景として、漢方医学から蘭学への医学の変遷、本館所蔵の飯田藩医松井家の資料、疫病の流行と種痘をテーマに捉え、医学・本草学の観点から飯田の歴史を考える機会とした。

1) トピック展示

- ①旧小笠原家書院築400周年「伊豆木小笠原家と旧小笠原家書院」R6. 6. 8～9. 1 5, 967人

旧小笠原家書院が伊豆木の地に創建されてから400年の節目にあたり、改めて伊豆木小笠原家を知ろうとする機会として開催。三穂地区では、小笠原書院400年を記念してさまざまな行事が実施され、本展示もこの築400年事業の一環として開催した。併せて、本展示を再構成し「「信濃衆」と呼ばれた特別な旗本ー伊豆木小笠原家・座光寺家・知久家ー」と題し、伊豆木の小笠原家、阿島（喬木村）の知久家、山吹（高森町）の座光寺家をあわせた御三家「信濃衆」ゆかりの近隣の3施設で巡回展示を行った。

- ②菱田春草生誕150年「菱田家の人びと」R6. 9. 3～12. 8 8, 634人

春草生誕150周年の特別展「創造の道筋-画卷《四季山水》への歩み-」の関連展示として実施。春草を生んだ背景を探るべく、菱田家の家族のうち比較的資料が残っている父鉛治と兄の為吉と弟の唯蔵に焦点を当てた。父鉛治は飯田藩士として飯田城の廃城処理に携わり、数学者の為吉は春草に画家になることを勧めた。弟の唯蔵は日本の航空技術研究の先駆者でもあった。

- ③生誕150年「井出嘉汕の眼と技」R6. 12. 21～R7. 3. 2 1, 763人

井出嘉汕（1874～1943）は、日本画家菱田春草と同じ年に飯田町で生まれた彫刻家。飯田城下で脇坂時代から代々仏師を営んできた家系に生まれ、彫刻家として仏像以外の作品も手がける一方、古美術品のコレクターとしての顔を持っていた。本展では、嘉汕の生誕150年の節目に際し、作家としての“技”とともに古美術コレクターとしての“眼”に着目し、当館で保管する嘉汕の作品だけでなく蒐集した仏教絵画等を紹介した。

- ④新収蔵品紹介「修復を終えた田中芳男関係資料」R7. 3. 15～5. 25 3, 460人（令和6年度796人）

令和5年度に起草された飯田出身の田中芳男（1838-1916）ゆかりの資料群のうち、修復を終えた資料のお披露目の第一弾として、田中芳男自らが作成した撮写図や書跡などを紹介。

2) 遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」トピック展示

本館で開催したトピック展示の巡回展示や遠山谷をテーマとした展示を①～④の4本開催した。

- ①「南アルプスのアンモナイト化石」 R6. 4. 20～8. 2
- ②「遠山谷の盆踊り」 R6. 8. 3～11. 15
- ③「飯田下伊那における疫病」 R6. 11. 16～R7. 2. 21
- ④「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」 R7. 2. 22～

遠山郷土館での会期後、上村まつり伝承館「天伯」に巡回（ただし②は同時期開催）。

3) 藤本四八記念小中高校生写真賞

写真賞 前年度に引き続き、小学生・中学生・高校生ごとに作品を募集し、「藤本四八記念賞」「しんきん大賞」「水谷章人特別賞」「教育長賞」「館長賞」を選出して表彰。今回は総点数総点数 65 名 102 点（小学生：16 名／27 点 中学生：16 名／24 点 高校生：33 名／51 点）の応募があった。

募集期間 R6. 9～11. 23

表彰式 R6. 1. 18

作品展示 ムトスぷらざ R7. 1. 19～2. 2

飯田信用金庫本店ロビー R7. 2. 7～2. 23

飯田市美術博物館ロビー R6. 3. 3～3. 14

審査員 水谷章人氏・教育長・本館館長

協賛 飯田信用金庫

〈自 然〉

1) トピック展示

今年度は、昨年度からの継続の展示1本と新規展示2本を実施した。

- ①「南アルプスの高山蛾調査最前線！」（前年度から継続）R6. 3. 9～8. 25 10, 148人

2016年から始めた南アルプスでの高山蛾調査も2023年で8年目となった。南アルプスでの高山蛾研究史などにふれながら、調査で新たに明らかになった最新の高山蛾解明状況を紹介した。

- ②「そして化石は「標本」になる ー近藤恭一が見つけた富草の海ー」R6. 8. 27～R7. 2. 2 9, 875人

令和5年度に寄贈された近藤恭一コレクションの中から、阿南町富草から産出する化石を展示。標本から見えてくる大昔の“富草の海”の姿とともに、近藤氏が化石採集にかけた情熱や、類まれな「標本づくりの技」の一端を紹介した。。

- ③「ギフチョウと伊那谷の春のチョウ」R7. 2. 4～5. 25 4, 339人（令和6年度1, 675人）

飯田市の天然記念物ギフチョウの現在の生息状況や春に見られるチョウたちを紹介しながら、温暖化などの影響を受けている虫たちの現状について考える。

2) 自然展示室展示変更

①季節の自然ひとつまみパネル

令和3年1月から毎月その時期の身近な自然を紹介するパネルを、自然展示室入り口壁面に設置している。

【令和6年度のテーマ】4月「春の巨大蛾オオシモフリスズメ」、5月「キモかつこいいママシグサ」、6月「休耕田のトンボ ハッチョウトンボ」、7月「黄色のスマレ キバナノコマノツメ」、8月「夏の太陽にざらりとかがやくタマムシ」、9月「秋に大変身するノビタキ」、10月「美博の庭にもいるタネタタキ」、11月「小春日和に咲く晩秋の花」、12月「初冬のごちそう」、1月「エノキの落葉の裏にいる怪獣たち」、2月「ゼフィルスのお卵」、3月「早春の沢に灯るネコノメソウの花」

3) 追手町小学校化石標本室の公開

平成6年度 長谷川善和氏(横浜国立大学名誉教授、当館顧問)から寄託された古生物標本・現生動物骨格の展示室として平成16年度に追手町小学校化石標本室がオープンした。令和5年度には展示のリニューアルをおこなった。 437人

(2) プラネタリウム投影事業

1) プラネタリウム投影

①投影回数・観覧者数

投影回数450回 観覧者数7,864人

②一般投影

土・日・祝日並びに長期休暇期間に1日3回の投影をおこなった。

投影番組

- ・ヘーゼルナッツ
- ・オーシャン
- ・宇宙のオアシスを探して
- ・イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行
- ・プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる！2
- ・イントゥ・ザ・ネイチャー
- ・たいようくんとおつきちゃん
- ・マーズ1001 火星に舞い降りる日
- ・虹の天象儀
- ・ねずみと森のなかまたち
- ・イマジンザムーン

③予約投影

平日10:00～17:00の時間帯に、幼稚園、保育園、小学校や一般の団体を対象に予約を受けて投影をおこなった。

④特別投影

「お誕生星座と黄道12星座」《春》4/27《夏》7/27《秋》10/26《冬》1/25 4回・81人

「春草ウィーク投影」9/16～22 6回・61人

「ぐっすりブラ寝タリウム」11/23 43人

「遠山霜月祭」11/23, 24 13人

「あの日を忘れない～今私たちにできること」防災ミニ展示と東日本大震災のプラネタリウム番組(仙台市天文台制作)

「星空とともに」3/22, 23 2回19人 「星よりも遠くへ」3/29, 30 2回・43人

2) オリジナル番組の制作と投影

令和6年度も新規番組の制作はおこなわず、これまでに制作したオリジナル番組を一般投影や予約投影で利用した。

(3) 教育普及事業

〈全 体〉

1) 夏休みイベント

ワクワクびはくで夏休み2024 R6. 8. 11 484人

プラネタリウム無料投影、ワークショップ、クイズなどを実施。

- ①化石レプリカを作ろう
- ②とうめいボトルでコケリウム
- ③古い建物の模型を作ろう
- ④忍者メシをつくろう
- ⑤パクパクおししをつくろう
- ⑥へんてこマスコットをつくろう
- ⑦ドキドキびはく名所ツアー
- ⑧ワクワクプラネタリウム
- ⑨星空ヒーリングスペースー天歩ー
- ⑩かわいい星ころんをつくろう
- ⑪クイズラリーびはく探検の旅

2) 5館スタンプラリー

5館（飯田市美術館・飯田市考古博物館・秀水美人画美術館・上村まつり伝承館「天伯」・遠山郷土館「和田城」）をめぐることで、地域の文化や歴史に触れる機会をつくった。

7月20日（土）～8月25日（日） 参加者192人 4館以上観覧12人

3) シルバーウィーク

敬老の日（9月16日）にちなみ、期間を春草ウィークに合わせて、遠山郷土館と考古博物館においても展示観覧料無料とした。

9月16日（祝）から9月22日（日）

4) びはく学芸祭2025

自然・人文・美術分野の調査研究や教育普及活動を広く紹介する企画。ポスター発表と、口頭発表・ポスターセッションを実施した。

【ポスター発表】

会期中、本館ロビーにおいて下記のポスターを掲示した。

掲示期間：R7. 3. 15～3. 30

- ①四方圭一郎（本館学芸員）・屋宜禎央（九州大学）「赤石山脈の高山帯、亜高山帯で得られた注目すべき小蛾類」
- ②川谷文子（本館学芸員）「ひきだしの中のイルカー富草層群産スクアロデルフィス科化石の報告」
- ③田中良（本館専門研究員）・村松武（本館専門研究員）「中央構造線の断層破碎帯を掘り抜き国産ニッケルに挑んだ飯田市八重河内の天竜鉱山とその鉱床」
- ④村松武（本館専門研究員）「深層崩壊に伴う天然ダムとその変遷ー赤石山地南部水窪川水系の事例から」
- ⑤米山富和（本館専門研究員）「センサーカメラによる哺乳類調査」
- ⑥織田顕行（本館学芸員）「田中芳男が観た・写した・食べた リンゴとダイコン」
- ⑦近藤大知（本館学芸員）「飯田藩医太田家と太田用成の医学ー『七科約説』出版の背景ー」

- ⑧中山京子（本館専門研究員） 「図説・屋台獅子～伊那谷の獅子舞の系譜～」
 - ⑨羽田真也（歴史研究所研究員） 「近世大平街道における物流と馬稼」
 - ⑩岩田会津（歴史研究所研究員） 「明治期地籍図にもとづく旧上郷村の景観復元」
 - ⑪前澤健 （歴史研究所特任研究員） 「三遠南信を結ぶ天竜川通船ー明治の初めの物流ー」
 - ⑫竹村雄次（歴史研究所特任研究員） 「明治30年代の飯田のにぎわい」
 - ⑬加藤大智（考古博物館学芸員） 「長野県下における縄文時代晩期の石鏃編年」
 - ⑭岡庭圭佑（伊那民俗学研究所会員） 「深見の祇園祭」
 - ⑮飯田・城下町サポーター 「令和6年度の飯田・城下町サポーターの取り組み」
 - ⑯小池朋実（本館学芸員） 「伊藤悦太郎宛菱田春草書簡と春草会」
 - ⑰手塚俊尚（本館専門研究員） 「明治後期国定教科書『新定画帖』を地方の教師達はどう受けとめたか」
 - ⑱藤木舞（下伊那教育会菱田春草研究委員会） 「菱田春草『帰樵』とモネ『積みわら』の比較鑑賞～中学1年生の実践を通して～」
 - ⑲矢澤正彦（元美術博物館協議会委員） 「川路農美の誕生に迫る」
- 【口頭発表・ポスターセッション】
- 講堂で下記の口頭発表をおこなった後、ロビーにて上記のポスターの解説をおこなった。
- 日時：R7.3.22
- 参加：71人（口頭発表31人、ポスターセッション40人）
- ①近藤大知（本館学芸員） 「『七科約説』を生んだ飯田の医学・本草学ー太田用成生誕180年 記念特別陳列よりー」
 - ②小島淳（本館学芸員） 「創造の道筋ー菱田春草生誕150年記念特別展よりー」

〈美 術〉

1) 美術講演会

一線で活躍する研究者・作家を招いての講演会。令和6年度は開催中であった「滝沢具幸展」にあわせ、美術史家の野地耕一郎氏と日本画家の滝沢具幸氏の対談をおこなった。

- ①「日本画の最前線に行く 滝沢具幸さんとの対談」野地耕一郎氏（美術史家・泉屋博古館東京館長）・滝沢具幸氏（日本画家・本館顧問） R6.5.25 35人

2) 春草講座

菱田春草に関する連続講座。学芸員が講師となり、春草にまつわる話題を紹介した。

- ①第1講「創造の道筋 六曲一双《落葉》」小島淳（本館学芸員） R7.1.26 19人
- ②第2講「創造の道筋 画卷《四季山水》」小島淳（本館学芸員） R7.2.23 24人

3) 美術鑑賞の会

夜間開催の鑑賞会。学芸員などの解説付きで展覧会を鑑賞した。

- ①第40回「美術博物館館長退館記念 滝沢具幸展」榎村洋介（本館副館長）・滝沢具幸氏（本館顧問） R6.5.10 20人
- ②第41回「創造の道筋ー画卷《四季山水》への歩みー」小島淳・小池朋実（本館学芸員） R6.10.25 15人

4) 展覧会付属講演会

- ①菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋」
記念講演会1「秋本洒汀と菱田春草ー画卷《四季山水》に連なる絆についてー」塩谷純氏（東京文化財研究所上席研究員） R6.10.14 42人

②菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋」

記念講演会 2 「春草晩年の作品－《四季山水》を中心に－」 尾崎正明氏（テツ・アートプラザ館長） R6. 10. 27 36人

③菱田春草生誕150年記念特別展「創造の道筋」

展示解説会 小島淳・小池朋実（本館学芸員） R6. 10. 12 19人

展示解説会 小島淳・小池朋実（本館学芸員） R6. 10. 26 41人

④第24回現代の創造展

ギャラリートーク（出品作家18名） R6. 11. 23 48人

ギャラリートーク（出品作家18名） R6. 12. 1 67人

⑤第24回現代の創造展

中学生一日学芸員 R6. 11. 23 10人（中学生）

高校生一日学芸員 R6. 12. 1 12人（高校生）

5) 日本画実技講座

創画会会員の日本画家である滝沢館長による日本画講座。日本画の様々な技法を実践した。

- ・講師 滝沢具幸（本館館長）
- ・期日 R7. 3. 15、R7. 3. 16
- ・参加 のべ20人（15日9人・16日11人）

6) 子ども美術学校

小学生4～6年生を対象とした図画工作の講座。3クラス各7回を実施し、様々なプログラムを組んで造形に挑み、鑑賞授業もおこなった。

- ・講師 手塚俊尚（本館専門研究員）
- ・期間 5月～11月
- ・参加 在籍65人、のべ447人 6種366点の作品を製作
- ・展示 R7. 2. 7～2. 23（市民ギャラリー）

7) 中学生造形教室

中学生を対象とした絵画・工作の造形講座。1クラス4回を実施し、様々なプログラムを組んで造形に挑み、鑑賞事業もおこなった。

- ・講師 手塚俊尚（本館専門研究員）
- ・期間 6月～10月
- ・参加 在籍10人、のべ38人 4種38点の作品を制作

〈人 文〉

1) 美博文化講座

- ①「まぼろしの町「新建」（しんたて）を歩く」（見学会）飯田・城下町サポーターの皆さん 5/14 18人
- ②「『妹の力』の現代的意義を問う」（伊那民俗学研究所共催事業）永池健二氏（柳田国男研究会会員）5/26 30人
- ③「日夏耿之介の足跡を訪ねて」（見学会）織田顕行（本館学芸員）6/16 3人
- ④「下伊那の旗本と山 ー伊豆木小笠原氏を中心にー」前澤 健氏（歴史研究所特任研究員）7/7 40人
- ⑤「飯田の医学史を探る」8/25 37人
「江戸時代の医学と信濃」青木歳幸氏（佐賀大学特命教授）
「“坂柿一統記”と飯田の医師について」山本正名氏（元裁判官）
「飯田下伊那の牛痘法の導入時期について」近藤大知（本館学芸員）

- ⑥「“御用水”って何？ ー城下町のライフラインー」（見学会）飯田・城下町サポーターの皆さん 10/6 20人
- ⑦「飯田城下の仏師井出家とその作品」織田顕行（本館学芸員）12/22 32人
- ⑧「田中芳男が遺したものー新たに寄贈された資料からー」織田顕行（本館学芸員）3/16 19人

2) ゼロから始める古文書

前年度に引き続き、歴史研究所との連携事業として実施。毎月第1水曜日開催から第2水曜日開催に変更した。

- 1班 毎月第2水曜日
- 2班 毎月第3土曜日

3) 遠山郷土館学習講演会

パネル展示や遠山に関するテーマに沿って実施。

- ①「伊那谷古生物学ー遠山の「伊那谷最古」の化石ー」川谷文子（本館学芸員）6/29 15人
- ②「遠山谷の盆踊り」（和田宿にぎやかし隊共催）近藤大知（本館学芸員）8/31 28人
- ③「須沢の霜月祭を見る」（映像上映会）櫻井弘人氏（國學院大學兼任講師）11/4 28人
- ④「飯田下伊那の疫病」近藤大知（本館学芸員）2/11 16人

〈自 然〉

1) 講演会・シンポジウム

- ①「洪水・土砂災害は 起こりうるものが・起こりうるところで」（伊那谷自然友の会と共同開催）牛山素行氏（静岡大学防災総合センター教授）5/19 35人

2) 自然講座 （伊那谷自然友の会共催）

- ①「辰野町の地形・地質から考える土砂災害と知る防災」松澤真氏（京都大学）5/11 32人
- ②「中央構造線ってなんだろう？」宮崎裕子氏（大鹿村中央構造線博物館）6/8 58人
- ③「中央アルプスの氷河・周氷河地形」下平眞樹氏（駒ヶ根市立博物館）7/13 36人
- ④「近藤恭一コレクションから探る“富草の海”」川谷文子（本館学芸員）8/31 35人
- ⑤「伊那谷唯一の火山泥流層に発見した多量の埋もれ木跡」坂本正夫氏（本館客員研究員）9/8 21人
- ⑥「信州でクマとどうつき合うか？ 生態と対策」瀧井暁子氏（信州大学山岳科学研究助教）・岸元良輔氏（信州ツキノワグマ研究会代表）対面35人、オンライン13人
- ⑦「信州の山はどうして高いの？ どのように高くなったの？」小澤恵理氏（南アルプスジオパーク協議会）10/19 【講師都合で中止】
- ⑧「中央アルプスにおけるライチョウ復活事業の成果」小林 篤氏（環境省生息地保護連携専門官）11/9 対面21人、オンライン15人
- ⑨「南アルプスの高山植物・花巡り」四方圭一郎（本館学芸員）12/21 対面31人、オンライン16人
- ⑩「簡単？ 難しい？ シダの見分け方入門」大塚孝一氏（長野県植物研究会副会長・本館評議員）1/18 対面34人 オンライン26人
- ⑪「背負っているのは自分の子ども…だけじゃない？イクメン昆虫コオイムシの子育て事情」鈴木智也氏（広島修道大学助教）2/8 オンライン25人 サテライト会場9人

3) 伊那谷自然史発表会（伊那谷自然友の会共催）3/15 28人

4) 子ども科学工作教室 <主催・子ども科学工作教室運営協議会> 会場 エス・バード 9/7 44人、11/9 42人

5) 微の世界をさぐる-電子顕微鏡公開-

昆虫の目、花粉、微化石など電子顕微鏡を使って微の世界を紹介する。

4月～11月の第1・3日曜日 24回 92人 (のべ)

〈プラネタリウム〉

1) 星空観望会

- ①「月と春の星座」5/12 (雨天中止)
- ②「夏の星座と天の川」7/12 (雨天中止)
- ③「秋の星座」10/13 36人
- ④「冬の星座とカノープス」2/23 30人

2) プラネタリウムまつり 3/20

「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行」「ねずみと森のなかまたち」「ぐるぐるうずまき」
「星空解説+プラネタリウム番組「銀河の渚で」 230人
ワークショップ小型月面ロボット「SORA-Q操縦体験会」、ワークショップ「ミニプラネタリウムを作ろう!」 45人

(4) 調査・研究事業

〈全 体〉

1) 研究紀要35号の発刊 3月 450部

- ・小池朋実 伊藤悦太郎宛菱田春草書簡と春草会
- ・松井美保 菱田春草「鳳凰殿壁画模写」資料から一フェノロサと岡倉天心の美術教育行政ー
- ・近藤大知 飯田藩医太田家と太田用成の医学ー『七科約説』出版の背景ー
- ・青木隆幸 幕末の飯田藩ー藩主堀親義の隠居についてー
- ・加藤大智 資料報告 矢崎遺跡の石鏃

2) 伊那谷自然史論集26号の発行 3月 340部

- ・坂本正夫 星空保護区認定に向けたしらびそ高原の環境
- ・坂本正夫・狩野謙一 赤石山脈南西部、和田-青崩峠間の中央構造線の断層セグメント
- ・村松 武 伊那市美原の旧焼却場跡地に現れた埋没テフラ層すべりの露頭
- ・田中 良・村松 武 中央構造線の断層破碎帯を掘り抜き国内ニッケル生産に挑んだ飯田市八重河内の天竜鉱山とその鉱床
- ・松宮裕秋 長野県南信地方におけるアカアシチョウゲンボウ *Falco amurensis* の初記録
- ・米山富和 長野県飯田市における赤外線センサーカメラによる哺乳類等の記録
- ・米山富和 飯田市美術館の簡易的水場を訪れる鳥類の記録
- ・韓 昌道 長野県伊那市にある施設でマツヘリカメムシの死骸を拾得
- ・宮下 直 長野県飯島町におけるマルタンヤンマとヒメアカネの記録
- ・出戸秀典・永野裕大 長野県飯島町におけるクロミドリシジミの観察記録
- ・出戸秀典 長野県飯島町と松川村におけるミヤマシジミの斑紋異常
- ・四方圭一郎 長野県飯田市におけるムツトゲイセキグモの記録
- ・四方圭一郎 長野県飯田市におけるヤモリ類の記録
- ・四方圭一郎・米山富和 長野県喬木村小川川におけるナガレタゴガエルの記録
- ・濱田竜輔・松宮裕秋 長野県伊那市におけるユビナガコウモリとチチブコウモリの観察記録

3) web上での情報発信

- ・『飯田市美術博物館研究紀要』『伊那谷自然史論集』の論文を、科学技術振興機構が運用する同種のサイト「J-stage」上に公開中。
- ・館蔵の文書目録をホームページ上に公開中。

〈美 術〉

1) 菱田春草および春草に関わる作家

- ①菱田春草作品の調査研究
- ②菱田春草未完成作品の調査研究
- ③菱田春草関連資料の調査研究

成果発表

- i 特別展『創造の道筋－画卷《四季山水》への歩み－』（展覧会図録）
小島淳「《四季山水》制作への道筋」
小池朋実「《四季山水》 創造への歩み」
- ii びはく学芸祭2025（ポスター発表・口頭発表）
小池朋実「伊藤悦太郎宛菱田春草書簡と春草会」（ポスター発表）
小島淳「創造の道筋－菱田春草生誕150年記念特別展より－」（口頭発表）
- iii 研究紀要
小池朋実「伊藤悦太郎宛菱田春草書簡と春草会」

2) 郷土関連の美術

- ①自由画教育についての調査研究
- ②農民美術についての調査研究
- ③郷土近世南画家の研究

成果発表

- i びはく学芸祭2025（ポスター発表）
手塚俊尚「明治後期国定教科書『新定画帖』を地方の教師達はどう受けとめたか」

3) 鑑賞教育

- ①小中学校と連携した春草作品の鑑賞教育の実践研究

4) 造形教育

- ①小中学生・保育園児に対する造形教育の教材研究

〈人 文〉

(1) 展覧会関連調査

トピック展示

特別陳列

飯田市立中央図書館

令和7年度特別展

同朋大学仏教文化研究所、上村まつり伝承館「天伯」、大谷大学博物館・図書館

(2) 社寺調査

依頼調査

各自治体教育委員会や博物館、社寺からの依頼を受けて仏像調査を実施した。

(3) 民俗調査

伊那民俗学研究所との共同調査として、令和7年度から飯田市下久堅地区での民俗調査を計画。本年度は準備期間として、ミーティング、事前学習会、調査地の見学等をおこなった。飯田短期大学と連携して実施予定。

(4) 建造物調査

歴史的建造物の現状調査を行い、図面を作成した。

(5) その他

家屋解体、遺品整理等にともなう所蔵品等調査 4件

〈自 然〉

1) 学芸員・専門研究員による調査研究

- ①「南アルプスの巨大崩壊と天然ダム」地域：南アルプス
- ②「富草層群の海生哺乳類化石」 地域：阿南町
- ③「高山帯の昆虫調査」地域：南アルプス中部・八ヶ岳
- ④「天竜川における鳥類標識調査」地域：飯田市川路
- ⑤「長野県・新潟県におけるクジラ化石の分類学的検討」
- ⑥「鱗翅目昆虫の分類・生態」

2) 市民の協力を得た地域史研究事業

- ①南アルプス高山帯の生物調査
- ②天竜川における鳥類標識調査
- ③鳥類ほ乳類の剥製・骨格標本作成

〈プラネタリウム〉

1) 連絡活動・研修会

- ・長野県プラネタリウム連絡協議会研修会 5/14～15（上田市）、11/12（飯田市）
- ・日本プラネタリウム協議会・研修会 6/3～5（横浜市）、12/16～18（富山市）

(5) 資料収集・保管事業

部門ごとに資料の購入や寄贈・移管受入、寄託を受けた。

1) 寄 贈

〈美 術〉

- | | |
|-------------------|------|
| ・滝沢具幸《地のものたち》 | 6曲1隻 |
| ・田能村直入《清和樓》 | 1 幀 |
| ・鈴木華村《江村図》 | 1 面 |
| ・菱田武夫《中国人形》ほか資料 | 7 点 |
| ・菱田春草《賢首菩薩(下絵)》ほか | 476点 |
| ・最上圭介《ちいさな教会》ほか | 6 面 |
| ・岩崎才治宛富岡鉄斎書簡 | 1 幀 |
| ・関達夫《道祖神》 | 1 面 |
| ・仲村進《天地創造》 | 1 面 |
| ・富岡鉄斎《慶祥致福》ほか | 2 点 |
| ・藤本四八撮影フィルムほか | 207点 |

〈人 文〉

- ・『武鑑』（「御大名氏譜」二） 1冊 江戸時代
- ・日夏耿之介詩「神のごとき人」 1面 昭和18～20年（1943～45）
- ・日夏耿之介書「月今宵」 1幅 昭和10～20年代（1935～54）
- ・日夏耿之介短歌四種 1面 昭和20年頃

〈自 然〉

- ・富草層群産サメ・エイ化石標本 30点

2) 購 入

〈美 術〉

- ・雑誌『国華』 20冊
- ・雑誌『下伊那教育』6号 1冊
- ・雑誌『週刊サンニユース』 7冊
- ・雑誌『国際文化』 1冊
- ・雑誌『MANCHOUKUO』 1冊
- ・原広司著『建築に何が可能か』 1冊
- ・原広司著『アルミニウム建築』 1冊
- ・鈴木芙蓉筆『漫遊文草 五巻』 5冊
- ・鈴木芙蓉筆『華陽皮相 上下』 2冊

〈人 文〉

- ・『製薬試験表』（江馬元齡著） 1冊
- ・『生理発蒙』（島村鼎甫訳述、太田用成他校） 7冊
- ・『増訂草木図説』（飯沼慾斎著、牧野富太郎校訂） 3冊
- ・「第二回内国勸業博覧会列品図録」 1冊

3) 資料の修復

〈美 術〉

①表装

- ・菱田春草《二見ヶ浦》 1幅

〈人 文〉

①田中芳男関係資料の修復・表装

令和5年度に寄贈された上記の資料について、以下修復・表装を行った。

- ・「蘿蔔類従」 1幅 紙本墨書 田中芳男作 明治24年4月（1891）
- ・「水草之図二十種」 1幅 紙本墨画 田中芳男原案 明治29年4月（1896）
- ・漢詩「詠禿山之吟」 1幅 紙本墨書 田中芳男筆 明治30年5月（1897）
- ・漢詩「大黒山隣蛭子山」 1幅 紙本墨書 田中芳男筆 明治30年7月（1897）
- ・一行書「種樹養富源」 1面 紙本墨書 田中芳男筆 明治33年7月（1900）
- ・「国家之富源在于山奥水」 1幅 紙本墨書 田中芳男筆 大正2年2月（1913）
- ・「北海道産欄葉樹三十種」 1幅 紙本版本 田中芳男作 大正3年2月（1914）
- ・漢詩「菽麦和温醸造方」 1幅 紙本墨書 田中芳男筆 大正4年1月（1915）
- ・撮写図「東北之果王」 1幅 紙本墨書 田中芳男作 大正5年4月（1916）

4) 館蔵資料の登録・データベース化

〈美術〉

- ・藤本四八写真フィルム 27点

〈人 文〉

①田中芳男関係資料

令和5年度に寄贈された田中芳男関係資料のデータベース850件余を、令和7年3月に当館ホームページ上で公開した。

- ・「飯田市美術博物館収蔵品データベース」<https://collection.iida-museum.org/>

〈自 然〉

- ・化石 2,391点
- ・鳥類剥製・骨格 21点

5) 写真・映像資料のデジタル化および編集

〈人 文〉

- ・遠山霜月祭記録映像マスターテープのデジタルデータ化
- ・遺跡発掘調査等により記録保存した写真フィルムのデジタルデータ化

6) 資料貸し出し

〈美 術〉

- ・菱田春草《秋溪》 1 幅
- 菱田春草《菊慈童》 1 幅
- 菱田春草《秋郊月夜之図》 1 幅
- 菱田春草《靈昭女》 1 幅
- 菱田春草《鹿》 1 幅
- 菱田春草《夕の森》 1 幅
- 菱田春草《春秋》 双幅
- 菱田春草《杉木立(未完成)》 1 幅
- 三好学『画家書簡』 1 幀
- 菱田春草『落葉ノート』 1 冊
- 菱田春草『白表紙写生帖』 1 冊
- 菱田春草『赤表紙写生帳』 1 冊
- 菱田春草『茶表紙写生帖』 1 冊
- 菱田春草「落葉写生」 3 面
- 菱田春草『製作扣帳』 1 冊
- 菱田春草「雀図(下絵)」 1 葉
- 菱田春草「落葉(下絵)」 1 葉
- 菱田春草「雪中の鹿(下絵)」 1 葉
- 菱田春草「初冬(下絵)」 1 葉
- 菱田春草「風景(下絵)」 1 葉
- 菱田春草「モチ・櫨(写生)」 1 葉
- 菱田春草「ミソサヅエ・シヨウヒ・タ」 1 葉
- 菱田春草「松に鳥」 1 葉

特別企画展「北陸新幹線福井開業企画 生誕百五十年記念 菱田春草展 普及の名作《落葉》誕生秘話」(福井県立美術館、R6.9.15～11.4)

- ・藤本四八「埴輪(女人埴輪頭部)」 1 点
- 藤本四八「埴輪(犬・群像)」 1 点
- 藤本四八「縄文土器」 1 点
- 藤本四八「土偶」 1 点

藤本四八「縄文土器」	1 点
藤本四八「ハニワ(現代の眼展)」	1 点
藤本四八「ハニワ(現代の眼展)」	1 点
藤本四八「ハニワ(現代の眼展)」	1 点
藤本四八「片腕をあげる埴輪」	1 点
藤本四八「片腕をあげる埴輪」	1 点
藤本四八「埴輪 圭甲武人正面」	1 点
藤本四八「ハニワ群像」	1 点
藤本四八「ハニワ猿」	1 点
藤本四八「ハニワ母子」	1 点
藤本四八「ハニワ人」	1 点
『みずゑ』55号	1 冊

特別展「ハニワと土偶の時代」(東京国立近代美術館、R6. 10. 1～12. 22)

- ・佐竹蓬平《伯牙弹琴図》 1 幅
- 鈴木芙蓉《鳴門晩景図》 1 幅

佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会展示(飯田市伊賀良公民館、R6. 11. 9～11. 10)

〈人 文〉

飯田市神送塚古墳出土の陶馬 1 点

所蔵品展 原始 開館 30 年のあゆみ展～(長野県立歴史館 R7. 3. 15～6. 15)

〈自 然〉

- ・富草層群産デスモスチルス臼歯化石 1 点

「信州が海になったころー南信州と西日本の海ー」(長野市立博物館分館信州新町化石博物館 7/6～11/10)

7) 他機関・学習・研究団体等への協力

①教育機関への支援

〈全 体〉

- ・博物館実習の受け入れ R6. 8. 27～9. 8 3 名受入

〈美 術〉

- ・下伊那教育会菱田春草研究委員会
- ・下伊那教育会図工・美術科委員会
- ・小中学校との鑑賞授業の実践(松尾小学校・阿南第二中学校など)
- ・小中学校との造形授業の実践(喬木第二小学校・竜丘小学校など)
- ・中学校部活地域移行会議
- ・小中学校教員の研修(竜丘小学校・高森南小学校など)
- ・高校・大学の鑑賞授業の実践(飯田短期大学・愛知学園大学など)

〈人 文〉

- ・飯田東中学校全校「繋・未来フェス2024」
- ・飯田市公民館子育て講座「夏休み親子研究」
- ・郁文館グローバル高校探求学習(遠山郷土館)
- ・城下町見学会(橋南公民館)
- ・総合学習「飯田城について」(飯田高陵中学校)
- ・霜月祭りお話しの会(上村まつり伝承館、上村・和田保育園)

〈自 然〉

- ・天竜川総合学習館かわらんべ講座への協力
- ・子どもの森公園観察会への協力
- ・小中学校への協力（竜丘小学校、千代小学校、飯田西中学校など）
- ・高校への協力（下伊那農業高校）
- ・公民館・自治振興センターへの活動協力（川路など）
- ・保育園・幼稚園への協力（時又保育園、竜丘保育園など）

〈プラネタリウム〉

- ・天竜川総合学習館かわらんべ講座への協力
- ・小中学校への協力（千栄小学校など）
- ・公民館・自治振興センターへの活動協力（鼎、南信濃など）

②各種団体

〈全 体〉

伊那谷研究団体協議会

〈美 術〉

春草会、春草公園を愛する会、佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会、飯田鉄斎愛好会、竜丘地区自治会の自由画保存顕彰事業、宮田村文化財保存活用地域計画作成協議会、中学校部活地域移行会議

〈人 文〉

【事務局、委員等】

柳田國男記念伊那民俗学研究所、遠山常民大学、遠山ガイドの会、飯田・城下町サポーター、飯田市歴史研究所、飯田市企画課大学誘致連携推進室、旧小笠原家書院400周年記念プロジェクト委員会、飯田市平和祈念館展示検討委員会、南信州民俗芸能継承推進協議会（事務局）全国神楽継承・振興協議会、飯田信用金庫（地域サポート部）、上田市の仏教美術展実行委員会、松本市立博物館特別展「春を待つ涅槃図」実施協力

〈自 然〉

伊那谷自然友の会、はなのき友の会、松本むしの会、金属・鉱物の会、下伊那教育会、長野県ジオパーク協議会、南アルプス自然環境保全活用連携協議会など

8) 関連事業

〈美 術〉

- ・春草ウィーク

菱田春草の誕生日（9月21日）と命日（9月16日）に近い一週間を春草ウィークとして、美術博物館の観覧料を無料とした。またプラネタリウムで番組「菱田春草の青春～日本画誕生への道～」の特別投影を無料でおこなった。

- ・「税に関するポスター」審査への協力（飯田市税務課）
- ・「障がい者文化芸術作品展」審査への協力（社会福祉協議会）
- ・「防犯ポスター」審査への協力（飯田警察署）

〈人 文〉

- ・繋がり創出による南信州民俗芸能継承推進協事業（南信州民俗芸能継承推進協議会）
- ・藤本四八記念小中高生写真賞、南信州の民俗芸能の継承（飯田信用金庫地域サポート部）
- ・遠山奇談で地域おこしを進める会」発起人会

【飯田市の取り組み】

- ・「ゼロから始める古文書」（歴史研究所）
- ・遠山郷エコ・ジオパークフィールドスタディ（企画課）
- ・IIDA学輪大学（企画課）
- ・南信州観光公社ツアー（飯田市観光課）

〈自 然〉

- ・南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークの取り組み（環境課ほか）
- ・南アルプスユネスコエコパークの取り組み（環境課ほか）
- ・飯田市環境チェッカー（環境課）
- ・飯田市の環境保全対策（環境課）
- ・飯田市の防災対策（交通防災課）
- ・遠山郷エコパーク・ジオパーク フィールドスタディ（大学誘致連携推進室）
- ・IIDA学輪大学（大学誘致連携推進室）